

金属のサビやすさ比較

1 研究の目的・調べること

環境（水・塩水・酢）による金属の錆びやすさの違いを調べる

2 準備するもの

費用の目安：100円程度

- 10円玉やクリップなど同じ金属片を3個以上
- 水・塩水・酢
- 透明カップ3個、記録用紙

3 実験・観察の手順

- 同じ種類・同じ大きさの金属片を3つ用意する。
- カップに水・塩水・酢をそれぞれ同じ量入れ、金属片を1つずつ浸ける。
- 1日1回、同じ時刻に色や表面の変化を観察し、写真を撮る。
- 5～7日間続け、変化の様子を表にまとめる。
- どの液体が一番サビやすかったか順位をつける。

4 【結果】 — 実験のあとに記入

ここに結果の写真やグラフを貼る／表や数値を書きこむ

5 【考察・感想】 — 実験のあとに記入

わかったこと・感じたこと・次に調べてみたいことを書く